

# 平成 27 年度 学校法人 三幸学園 名古屋リゾート&スポーツ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 和田 忍

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 高橋 順彦

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2.27 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 重点施策振り返り

現場力を付けさせ、即戦力として活躍できるよう「業界との連携強化」に努め、取り組んだ。また、社会人として当たり前のことを当たり前に行えるようにするため「基本に忠実に、継続する」を念頭に置き、学校生活から「習慣化」に日々努めた。そのため、教職員の認識統一や情報の共有は必要不可欠であり、今以上に強化している。なお、保護者協力も必要である為、タイムリーな情報共有に努めている。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

昨年度同様に、即戦力となる専門知識・技術の他に、社会人教育を日頃から行われている様子が感じられ、社会人として必要な基本を徹底できている様子が感じられている。よって、今後も一層の浸透を図って行って欲しい、継続してもらいたい。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

### ① 課題

業界のニーズに基づき、育成人物像を設定し精度を高める。また、今以上に教職員が「明るく元気で前向き」に取り組む、学校全体の雰囲気作りに努めていく。そして、「基本の徹底と継続」を強化し、日頃の学校生活が大切であると言いつけて行く。

### ② 今後の改善方策

企業や業界関係者との関係構築に努め、業界の動向を把握していく。また、資料や教科ポイント記載シールを配布・掲示をし、即行動に移していく。そして、節目で取り組んだ事に対する振り返りと課題・問題を考える。

### ③ 特記事項

学校の理念・目的・育成人材像は、入学前のオリエンテーションや保護者説明会にて新入生及び保護者に提示している。また、入学後に行なう全生徒対象の研修プログラムでも、学校の理念・目的・育成人材像は周知し、そこに向かうべく、個々の目標設定と管理を徹底している。

校内及び教室に、学校の理念・目的・育成人材像の記載されたポスターを掲示している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

心の部分の教育に力を入れていることに改めて感心している。また、継続することの大変さも重要性も理解していることは素晴らしいことである。今後もより一層浸透を図り、継続してほしい。

## (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

### ① 課題

出欠席の管理等は、業務効率を図るための情報システム化は導入していない。できる限り講師とのコミュニケーションと連携を図ることを優先している。(業務効率化)

### ② 今後の改善方策

業務の流れを再確認し、より効率よくタイムリーな情報共有に努めて行く。

### ③ 特記事項

講師情報開示ファイルや WEB 上の教務掲示板の設置など、情報システムの導入はしている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

適切に実施していると感じる。なお、課題としている連携・コミュニケーションはWEBコンテンツを用いるとよりタイムリーに実施できる為、検討できると良いと感じる。今後もより一層の浸透や課題改善を図って欲しい。

## (3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1

関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

教育の質の向上

② 今後の改善方策

業界と連携を図りニーズに合った内容の提供を、より継続・強化。そしてより実践的な機会の確保・提供。

③ 特記事項

能動的学習を進めて行く為、アクティブラーニングを取り入れた授業展開を取り入れている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

昨年度に比べ、一層アクティブラーニングを積極的に取り入れ実施していることはとても良い。  
今後もより一層教育の質の向上に努めていって欲しい。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	④	3	2
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

資格取得率向上・退学率低減に向けて、5年前より取組みをしており、少しずつ改善されてきているが、まだまだ資格によって差があったり、学年によって退学率が変わったりしているため、大きく効果が表れるシステム・取組みまで至っていない。

## ② 今後の改善方策

資格取得率向上に向け、該当する教職員との定例打合せにて問題点や取り組みに関する洗い出しをし、対策を練っていく。また、退学率低減に向けて、成功事例の共有を図り、定期的な打合せにて対策を練っていく。

生徒が育つのを待つのではなく、生徒育成プログラムを組み、毎週研修を実施していくことで、育てる環境を作る。

## ③ 特記事項

資格取得については、強化合宿の実施や集中講義を定期的実施するなどの取り組みは行っている。また、退学率低減に向けて、入学前と入学後のギャップを大きく生じさせないため、入学前にオリエンテーションを実施し、入学者の保護者も一斉に集め、説明会も実施している。その際に企業様にもお越しいただき、学校との産学連携という面でも説明をして頂いている。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

新たに取り組んでいる生徒育成プログラムは今後に期待できそうであり、楽しみである。

やる気にさせ、スモールステップを踏まえ、成長実感を湧かせることができるかが大事であるため、引き続き継続して実施すると共に、今後もより一層改善に向けて努めていって欲しい。

## (5). 学生支援

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

### ① 課題

卒業生への就職・資格支援は行っているが、問い合わせや個別相談があつてからの対応となっている。また、保護者への連絡は学生に良い・悪い出来事問わず行い、情報共有を行うよう実施しているが、頻度や想いの面を全面に出し来ていない(成長させたい・応援している・心配しているなど)。

### ② 今後の改善方策

卒業生HP(同窓会HP)の立ち上げにより、情報をタイムリーに提供し、相談しやすい環境を整備していく。また、保護者への連絡は協力依頼を強め、こちら側の想いをしっかり伝えていくようにする。

### ③ 特記事項

学生の経済的側面に対する支援体制として、奨学金や各種教育ローンを設けている。

学生の生活環境への支援としては、提携している寮等の案内がある。

高校との連携では、職業案内のガイダンス等で協力させていただいている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

在学中の支援は非常に情熱を傾け取り組まれているように感じる。また、保護者連携・協力を得る体制は昨年度より一層強化されている印象を受ける。引き続き継続して欲しい。

卒業生支援体制は更なる強化をお願いしたい。

## (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

### ① 課題

ある環境下で最大限必要とされる施設・備品は準備しているが、最新の備品等、時代の流れで変わり続けるものの対応は難しい面も多くある。

### ② 今後の改善方策

即戦力として育てて行く観点で、施設・環境・備品の設定を行っていく。

### ③ 特記事項

防災に関して、避難訓練の実施や周知。避難経路の掲示等も対応している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

より一層環境整備に努め、防災に対する整備を継続して行って欲しい。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

愛知県や愛知県専修学校各種学校協会等の規定に沿って、適切に行なっている。

② 今後の改善方策

AO入試や特待生入試等の入試方法について誤解を招かぬよう、説明・対応に努めて行く。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

募集活動は適正に行われていると感じられる。

入学後や卒業後の具体的なイメージを付けられると良い。引き続き規定に沿った対応をお願いしたい。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

社会的なニーズに即した学校の設置・増加に伴って、今後は更なる業務の多様化に対応した体制強化と整備が必要と考える。

## ② 今後の改善方策

- ・制度に対応した合理化、システム化の推進に取り組んでいく。
- ・規模の増加に対応するための人材の育成

## ③ 特記事項

### ○中長期的な財務基盤の安定について

- ・中期事業計画が策定され、当該計画は H25 年度に前倒しで完了している。
- ・生徒募集は堅調に推移し、予算も計画通り推移し財務基盤は安定している。

### ○予算および収支計画の有効性、妥当性について

- ・予算・収支計画については、正確かつ適正な予算編成を行うことを目的として、毎年度、学校責任者が策定し、総務部と理事で構成する予算編成会議において原案を策定している。
- ・予算執行状況が当初予算と乖離する場合、予算編成会議において補正予算の原案を策定している。
- ・策定された原案については、理事長説明を経て、理事会・評議員会において目的と有効性が審議され、有効かつ妥当なものとなっており、決算書、予算書、事業報告書に反映している。

### ○会計監査について

- ・私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づき、公認会計士による会計監査を受検している。また、私立学校法第37条の学校法人監事による業務監査及び関係監査を受検している。
- ・法人内部では総務部による内部監査を実施し、監事、公認会計と情報共有を行い、財務の正確性と業務執行状況について担保している。

### ○財務情報公開について

- ・財務情報の公開については、私立学校法に基づく体制整備している。なお、財務内容についてはWEBで閲覧可能な状態となっている。また、事業報告書を作成し、時系列且つグラフを用いて第三者からも理解しやすい工夫を行っている。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

※27年度決算が終了していなかったため26年度財務諸表を参照して財務情報を共有

## (9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1



① 課題

更なる法令遵守の推進。

② 今後の改善方策

会議や掲示物等で、職員の法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

問題・課題解決に向け組んでいると感じる。

外部の声をより一層積極的に活用し、質の向上に取り組んでほしい。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

必要に応じた教室・実技施設貸し程度であり、大きな貢献となっているか判断し兼ねている。なお、地域の子供向けに体操教室やパーソナルトレーニング指導を実施し、身体を動かす場の提供をしているが、頻度は少ない。

② 今後の改善方策

積極的な施設貸しを含む地域貢献に繋がる公開講座をより力をいれて努めて行きたい。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

地域への取り組みを積極的に行うことはとても良いし、新たに組んでいることも評価できる。

引き続き地域貢献を継続して行って欲しい。

(11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

目標や計画を具体的に設定されているように感じるため、継続的により良い学校創りに努めたい。

今以上に地域や社会に貢献していける学校となるよう努めていきたい。